

いきいきサロンかわら版



男性がつくる
ふれあいのいきいきサロン



～もくじ～

- 男性が多いサロン紹介 P2～P3
(久留米市、みやま市、春日市、筑前町)
- サロン推進協議会 (行橋市) P4

男性が集まるサロンに学ぶ。

「日頃、あまり外出していない人をどうサロンに来ていただくかを常に考えています。毎回1人でも多く参加してもらえよう、毎月発行している泉だよりによる周知や参加者の家を訪問して、呼びかけを行っています。」と泉地区自治会長の永井さんは話します。

泉地区は、高齢化率が40%を超え、春日市内で最も高齢化が進んでいます。泉地区サロンは65歳以上の方に幅広く声を掛けており、男性参加者が比較的多く、取材に伺った日は、大雨に

筑前町の朝日西地区は44名の参加者のうち16名が男性です。参加者の多くが男性ボランティアとして活動しています。取材に伺った日は、色鮮やかなチラシを使って、ストラップを作りました。毎月のサロンでは、環境にやさしいリサイクルとして新聞紙や牛乳パックを使ったバッグや帽子など、手先を使って色々な作品を作ります。

参加者の男性は「魚釣りのゲームやスカットボールが楽しかった。午前中は手先を使って物を作り、午後は歌や

筑前町 朝日西地区サロン

春日市 泉地区サロン

もかかわらず、20名近くの参加者が集まりました。サロンでは地域包括支援センターの保健師から口腔ケアの話や介護予防体操を習いました。

泉地区サロン参加者に男性が多い理由を尋ねると、永井さんは「特に、男性向けのメニューを行っているとか、特別なことはしていません。男女関係なく、皆で楽しめるサロンを作っています。」と話します。泉地区サロンに男性が多い秘訣は、積極的な見守り・声かけや広報でサロンの楽しさを伝えることが一番の理由のようです。

レクリエーションや体操をします。

サロンの醍醐味は、皆と話したり、大声で笑うことですね。」と笑顔で話します。サロンの運営は、男性が率先して弁当配りやレクリエーションの補助など懸命に動きます。

「当初から運営に協力してもらおうようお願いしたことが、積極的な参加につながったと思います。ただ参加して欲しいと誘うよりも、役割をお願いした方が参加しやすいと思いますね。」と代表者の平山さんは男性参加の秘訣を話してくれました。



口腔ケアは日々の生活で継続することが重要です。皆さん熱心に聞き入っていました。体操では笑顔がこぼれます。



サロンの終わりにピンシャン体操を行いました。

男性をサロンへ巻き込んでいくヒントとは？

地域づくりや仲間づくり、健康づくりに効果のある『ふれあいいきいきサロン』は全国的にみても女性の参加者が多いのが現状です。男性をどのように巻き込んでいくのか？ 今回は男性が活躍しているサロンを取材しました。

「『男性でも味噌汁くらい作らないといけない。今までの茶話会だけでは物足りない。』との話になり、女性の手を借りず、男性だけで料理が作れるようにと思ったことがきっかけでした。」とみやま市佐野地区サロン代表の松尾さんは話します。

佐野地区サロンは平成19年に立ち上がり、通常サロンは毎月60名近くの参加を得て活動しています。今年の5月から隔月で男性だけが集まり、皆で料理を作って、一緒に食べる男性料理教室を始めました。

みやま市 佐野いきいきサロン

取材に伺った日の料理教室で、男性参加者23名全員が参加し、ご飯、味噌汁、肉じゃが、サラダを作りました。打合せ後、料理に取りかかります。全員それぞれの持ち場で、手際良く、1時間程で料理が出来上がりました。昼食では、世間話や次回何を作るかの話が飛び交っていました。

「男性料理教室を始めて、まだ2回目ですが、みなさんが関心を持って、いきいきしている姿を見ることができて嬉しいです。今後も続けていきたい。」と笑顔で松尾さんは話します。



男性料理教室がある月、女性は他の日にサロンを行います。一生懸命作った料理はとても美味しく、ほとんどの方がおかわりをしました。

久留米市北野町今寺地区で毎月行われているサロン「さくら会」は「男性参加はあたり前やけん。」との声が聞かれるほど、久留米市内では男性参加者が比較的多いサロンです。

今寺地区は農業をしている方が多く、131世帯（平成21年4月現在）の地域です。さくら会はサロン発足時から男性7名、女性8名でどこよりも男性参加者が多い状況でした。当時の様子を代表の杉山さんは「たまたま当時の区長が民生委員を兼務していて、老人クラブを中心にサロンの意義・目的

久留米市北野町 今寺地区さくら会

を周知し、今寺地区に住んでいる男性に何度も声を掛け、それに協力した男性陣がサロンを盛り上げてくれたことが要因でしょう。」と話します。

市社協の大久保さんは「久留米市でも男性参加者が少ないことはサロンの活動の課題の1つになっています。発起人・参加者・ボランティアの人柄によるものもありますが、活動を始める頃から多くの男性に声かけを行ったことが今に繋がっているのでは。」と発足時から今までの活動を思い返しながら話してくれました。



間違い探し♪真剣に取り組みます。1つ2つ・・・脳トレ体操では、部屋中が笑い声でいっぱいになりました。

サロンを市内全域に「いきいき推進協」



新 規立ち上げサロン出前講座の風景
「地域住民の方が自分たちでよりよい地域にしていくために『いきいき推進協』を立ち上げました。住民の声を聞き、社協事業に活かしていきたい。」と市社協の原口さんは話します。会議ではサロンの課題、どのように参加者を増やし、広めていくか、メニューや財源確保など活発な意見が飛び交います。時には意見が分かれることもありますが、協議を重ね、より良いものを作り上げていきます。



行橋市社会福祉協議会では、サロン活動を市内全域に普及させ、現在182行政区中86地区64カ所で取り組まれているサロンの活性化を図ることを目的に、平成21年度から行橋市小地域福祉活動いきいきサロン推進協議会（通称 いきいき推進協）を設置しました。市内サロンの代表者や世話人で構成されている「いきいき推進協」には、3つの小委員会があり、企画委員会は主に総務的な役割を担い、広報委員会はサロンを市内にPRするためにサロンの活動状況や課題など、社協広報誌のサロン活動の記事の作成などを行います。研修委員会は、各サロンの交流会や他の市町村先進地の視察、また運営を担う若い人材やボランティア養成など、サロン活動を推進する上で必要な研修を話し合い、社協事業に結び付けていきます。

また、委員からサロン活動を未設置地域に積極的に呼びかけており、今年度すでに5地区でふれあいいきいきサロンが立ち上がっています。新規立ち上げのサロン関係者に話を伺ったところ「2年前から活動はしていましたが、趣味の活動や健康体操などでマンネリ化が課題となっていました。サロンを立ち上げることで、活動費の助成や市内地区のサロンがどのような活動をしているのかの情報も入ってくるので、今後の活動に活かせることや横のつながりができると考え、立ち上げることにしました。」と話されました。

「いきいき推進協」の会長である長江ふれあいイキイキ会の村上さんは「サロン活動は地道にコツコツ取り組んでいかないと長続きしません。まずは自分のために活動すること、その結果、地域がつながります。地域がよくなると市内全域がよくなります。これからも社協や行政と協力して、サロン活動の普及に全力を注ぎたい。」と力強く話されました。

【発行・問い合わせ先】

福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-584-3377 FAX 092-584-3369

URL <http://www.fsw.or.jp/>